学校番号	413

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校政治・経済」　（実教出版）						
副教材等	使用しない。						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

まずは、今の日本や世界で起こっていることを、その背景や歴史的な経過も含めて、なるべく深く正確に知って理解しましょう。

次に、それらの中でも解決することが必要とされている諸課題について、その解決の方法や方向性などについて、自分の考えを持つ練習をしてください。その時、人々の立場や信条などによって「正しい解決方法や答」は異なることが多い、ということも分かっておいてください。

そして、自分が選択した「答」が、投票やその他の行動を通じて自分や自分の家族や後の世代の人々の生活に影響を与える可能性がある、ということも正しく理解しておいてください。

２　学習の到達目標

・広い視野から民主主義の本質に関する理解を深めさせる。
・現代の政治･経済・国際関係などを客観的に理解させる。
・現代の世界における諸課題について、自らが詳しく調べ自分で深く考える力を身に付けさせる。
・社会の中で、公正で良識のある態度や行動を選択できる能力を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・現代の政治，経済，国際関係について関心を高め､意欲的に課題を追究するとともに、国家･社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	・現代の政治，経済，国際関係に関わる事柄から課題を見いだし，その本質や特質，望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的･多角的に考察し，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	・現代の政治，経済，国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	・現代の政治，経済，国際関係に関する基本的な事柄や，本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	発問に対する反応･答の観察 その他の態度や行動の観察 提出物チェック	定期考査 発問に対する反応･答の観察 提出物チェック（特に諸課題に対して自分の考えや答を書かせる部分について）	定期考査 提出物チェック	定期考査 提出物チェック

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代の政治	「政治」・「国家」・「法」について初歩的な知識を身に付ける。 「法の支配」「基本的人権」「権力分立」等について、歴史的な背景も含めて理解する。 各国の政治体制の違いを理解する。	○		○	○	a:人類が誕生して「最初の国」が出現するまでにどのくらいの時間が必要だったのか、そして国が生まれるためには何が必要だったのか、などの発問に対してどのように反応し、どのような答をしたか。 b: c:各国で認められている人権の違い等について自分で調べ、地域によってどのような傾向があるのか、などについてまとめる。 d:各基本事項に関して、正しく理解できているか。	発問に対する反応・答の観察。 定期考査。 提出物チェック。
		日本国憲法の制定過程についての理解。平和主義など日本国憲法の基本原則について理解する。 日本国憲法で定められている基本的人権について理解し、死刑制度や同性婚などについて各国の状況を自分で調べ、自分の考えをまとめる。 世界人権宣言・国際人権規約について、成立過程や拘束力・内容・条約の留保等について理解する。		○	○	○	a: b:c：日本は死刑制度を存続させるべきか、同性婚を認めるべきか、等の発問や提出課題についてどのような姿勢でどのように調べ、そしてどのような答を導き出したのか。 d:各基本事項に関して、正しく理解できているか。	発問に対する反応・答の観察。 定期考査。 提出物チェック。
		冷戦の始まりから終了まで、湾岸戦争からイラク戦争まで、アラブの春の始まりと現状、などについて国際政治の動向を理解し、現在の世界の状況について自ら関心を持って見ることができるようになる。	○	○		○	a:b:中東からの難民についてだれの責任だと思うか、ヨーロッパ各国の態度についてどう思うか、日本の難民受け入れ状況についてどう考えるか、等についての発問に対して、どのような姿勢でどのような答を導き出したのか。 c: d:基本事項に関して、正しく理解できているか。	発問に対する反応・答の観察。 定期考査。 提出物チェック。
2学期	現代の経済	経済について初歩的な知識を身に付ける。 資本主義経済と社会主義経済の違い、市場原理、種々の市場、市場原理で解決しにくい問題、等について理解する。 好景気と不景気の概念、1930 年代の不景気、ブロック経済、ニューディール政策、ケインズの理論、財政政策、金融政策、等について理解する。	○	○		○	a:自給自足の生活ができますか？日本のＧＤＰは約 500 兆円ですが、1 兆円を 1 万円札の束で積むとその体積は？また 1 兆円を毎日 100 万円ずつ使うと何年で使い切るでしょう？等についての発問に対して、どのような姿勢でどのような答を導き出したのか。 b:需要・供給のグラフで、独占市場を表すとどのようになるかを理解させた上で、「わが社」として最も望ましい価格設定をするか、グラフを読み取って自分で計算し、その独占企業の社長としてどのような決定をするか。 c: d:基本事項・基本的な経済原則に関して正しく理解できているか。	発問に対する反応・答の観察。 定期考査。 提出物チェック。

		国際経済に関する初歩的な知識を身に付ける。 IMF・GATTの設立意義と現状、EU・NAFTAなど地域的経済統合の成立と現状、等について理解する。	○	○	○	○	a:b:自国で手に入れる資源だけで一国の経済を運営するとその国の国民生活のレベルはどうなるでしょう、等についての発問に対して、どのような姿勢でどのような答を出したのか。 c:世界で「最も豊かな国」と「最も貧しい国」を調べる、等の課題を設定し、どのような基準で調べ、どのような答を出すか。 d:基本事項に関して正しく理解できているか。	
3学期	現代の諸課題	日本と近隣諸国との関係、異なる民族・異なる宗教の間の摩擦、保護主義的な経済への動き、等について理解する。		○		○	a: b:他の民族・宗教・他国の商品を拒み続けることは現実にできるのか、もしそれらを排除すれば日本はまた世界はどうなるのか、等についてどのような姿勢でどのような答を出すのか。 c: d:基本事項・基本的な経済原則に関して正しく理解できているか。	発問に対する反応・答の観察。 定期考査。 提出物チェック。

※表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識・理解

※原則として一つの単元(題材)ですべての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

※「評価基準」について、知識ではなく生徒の「考え」や「思い」を問う発問や提出課題に関しては、生徒が導き出した「答」の内容がどのようなものであるかについて基本的には優劣をつけない。その「考え」や「思い」が公正な態度で導き出されたのか、結論の根拠となったデータや資料等について正しく理解できているか、その根拠と結論との論理的な整合性があるか、等について評価する。